

【医療情報】新型コロナウイルス関連情報（5月1日現在）

【ポイント】

- 報道によれば、アルゼンチン国内では4532名（昨日から104名増）の累計感染者数、うち225名の累計死亡者数、及び1292名の累計治癒数が報告されています。
- 当国に居住、または短期的に滞在している方を対象とした、全国強制隔離措置（以下「強制隔離と記載」）（DNU 408／2020）が5月10日まで継続中です。同時に、非居住者の方々の入国の禁止も同日まで継続中です。
- 地方におられる非居住者の方々が、強制隔離期間中にご帰国のために首都へ移動される際には、所在地を出発される最低48時間前までに当国政府に申請を行う必要がありますので、時間的余裕を持ち、事前に当館領事班までお知らせください。
- 短期渡航者やご帰国予定がある皆様におかれましては、強制隔離およびそれに伴う国内移動制限の長期化、国際便の減少を念頭に、出国を希望する場合には各交通機関の運行状況等について、最新の情報の収集に努めてください。

【本文】

1 報道によれば、アルゼンチン国内では4532名（昨日から104名増）の累計感染者数、うち225名の累計死亡者数、及び1292名の累計治癒数が報告されています。

2 一般受刑者釈放を巡る情勢（報道）

4月30日夜、受刑者を自宅拘禁とする措置に抗議する大規模なカセロソ（鍋叩き）がブエノスアイレス市及び複数の主要都市で実施されました。これに関連し、民間調査会社が、ブエノスアイレス首都圏で実施したアンケートによると、82.9%の人が自宅拘禁に反対しているとの結果がでています。また、政府では、マサ下院議長を含む複数の下院議員が、自宅拘禁の決定を下したブエノスアイレス州の裁判官3名に対する弾劾を要求すると見られるとも報じられています。

3 地方に滞在されている皆様が首都へ移動される際の注意事項

地方におられる非居住者の方々が、強制隔離期間中にご帰国のために、車両（バスやレミース）で首都へ移動される際には、所在地を出発される最低48時間前までに申請を行う必要がありますので、ご帰国のために移動のご予定のある方は、時間的余裕を持ち、事前に当館領事班 conbsas@bn.mofa.go.jp までお知らせください。細部は「地方に滞在されている皆様が首都へ移動される際の注意事項」をご参照ください。 <https://www.ar.emb-japan.go.jp/files/100043069.pdf>

4 強制隔離およびそれに伴う国内移動制限

の長期化が見込まれ、見通しも不透明であるとともに、国際航空会社の多くが減便をしている現状から、短期渡航者やご帰国予定がある皆様におかれましては、マスクの着用、手洗いやうがいの励行などの感染予防に努めるとともに、出国を希望する場合には、各交通機関の運行状況等について、最新の情報の収集に努めてください。（以上）